

一般財団法人みやぎ産業交流センター定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、一般財団法人みやぎ産業交流センターと称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を宮城県仙台市に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、国際見本市その他の見本市、展示会、会議、イベント、大会等の開催及び支援等に関する事業を行うことにより、宮城県の産業振興、地域経済の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 見本市、展示会、会議、イベント、大会等の誘致
- (2) 見本市、展示会、会議、イベント、大会等の開催
- (3) 見本市、展示会、会議、イベント、大会等の開催支援
- (4) 見本市、展示会等への出展支援
- (5) 展示施設等の管理運営
- (6) 展示施設等の効用増進
- (7) 展示会活用推進
- (8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

第3章 資産及び会計

(財産の種類と構成)

第5条 この法人の財産は、基本財産及び基本財産以外のその他の財産とする。

2 基本財産は、この法人の目的である事業を行うために不可欠な財産で、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 財団法人みやぎ産業交流センター設立時の出損金 1,779,000,000 円
- (2) 基本財産とすることを指定して寄付された財産
- (3) 理事会において基本財産に繰り入れることを決議した財産

(基本財産の維持及び処分)

第6条 基本財産は、評議員会において別に定めるところにより、善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。

2 やむを得ない理由により基本財産を処分又は基本財産から除外しようとするときは、理事会において、理事現在数の4分の3以上の承認を得なければならない。

(事業年度)

第7条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第8条 この法人の事業計画書、収支予算書については、毎事業年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の決議を経なければならない。ただし、やむを得ない事情があるため、その決議を経ることができない場合には、その事業年度開始の日から3箇月以内に理事会の決議を経るものとする。

- 2 前項ただし書の場合にあっては、理事長は、理事会の決議を経るまでの間は、前事業年度の予算に準じて収入及び支出をすることができる。
- 3 前項の規定による収入及び支出は、新たに成立した予算の収入及び支出とみなす。
- 4 理事長は、第1項の事業計画又は予算を変更しようとするときは、理事会の決議を経なければならない。ただし、軽微な変更については、この限りでない。
- 5 第1項の書類については、主たる事務所に当該事業年度が終了するまでの間備え置くものとする。

(事業報告及び決算)

第9条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 正味財産増減計算書
- (5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号及び第4号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、他の書類については承認を受けなければならない。
- 3 第1項の書類のほか、監査報告を主たる事務所に5年間備え置くとともに、定款を主たる事務所に備え置くものとする。

第4章 評議員

(評議員)

第10条 この法人に評議員3名以上10名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第11条 評議員の選任及び解任は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）第179条から第195条の規定に従い、評議員会において行う。

(評議員の任期)

第12条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。
- 3 評議員は、第10条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員に対する報酬等)

第13条 評議員は、無報酬とする。

第5章 評議員会

(構成)

第14条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

(権限)

第15条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事の報酬等の額
- (3) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認
- (4) 定款の変更
- (5) 残余財産の処分
- (6) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第16条 評議員会は、定期評議員会として毎年事業年度終了後3箇月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第17条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

- 2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(議長)

第18条 評議員会の議長は、会議の都度、出席した評議員の中から選出する。

(決議)

第19条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 定款の変更
- (3) その他法令で定められた事項

- 3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならぬ。理事又は監事の候補者の合計数が第21条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

第20条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 議事録には、議長及び出席した評議員の中から選任された議事録署名人2名が記名押印しなければならない。

第6章 役員

(役員の設置)

第21条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 3名以上12名以内
- (2) 監事 2名以内

2 理事のうち1名を理事長とし、1名を常務理事とする。

3 前項の理事長をもって、法人法上の代表理事とし、代表理事以外の理事のうち、常務理事をもって
第197条において準用する第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員の選任)

第22条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。
3 理事のうち、理事のいずれか1名とその配偶者又は3親等内の親族その他特別の関係にある者の合
計数は、理事の総数の3分の1を超えてはならない。監事についても同様とする。

(理事の職務及び権限)

第23条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、常務
理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を執行する。
3 理事長及び常務理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を
理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第24条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の
調査をすることができる。

(役員の任期)

第25条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会
の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結
の時までとする。
3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
4 理事又は監事は、第21条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任し
た後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員の解任)

第26条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することが
できる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員の報酬等)

第 27 条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、常勤の理事に対しては、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬等として支給することができる。

第 7 章 理事会

(構成)

第 28 条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第 29 条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長及び常務理事の選定及び解職

(開催)

第 30 条 理事会は、毎事業年度開始前及び事業年度終了後 3箇月以内に開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第 31 条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(議長)

第 32 条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。ただし、理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、他の理事がこれに当たる。

(決議)

第 33 条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、法人法第 197 条において準用する同法第 96 条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第 34 条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印しなければならない。

第 8 章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第 35 条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

2 前項の規定は、この定款の第 3 条、第 4 条及び第 11 条についても適用する。

(解散)

第36条 この法人は、基本財産の滅失によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由によって解散する。

(剰余金の分配の制限)

第37条 この法人は、剰余金の分配を行うことができない。

(残余財産の帰属)

第38条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第39条 この法人の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

第10章 雜則

(委任)

第40条 この定款の施行について必要な事項は、理事長が理事会の決議を経て別に定める。

(事務局)

第41条 この法人の事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。
- 3 事務局長及び重要な職員は、理事長が理事会の承認を得て任免する。
- 4 前項以外の職員は理事長が任免する。
- 5 事務局の組織及び運営に関する必要な事項は、理事長が理事会の決議を経て別に定める。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める一般法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と一般法人の設立の登記を行ったときは、第7条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。
- 3 この法人の最初の理事長は伊東則夫とする。

一般財団法人みやぎ産業交流センター 評議員・役員名簿

令和7年6月9日現在
(注:所属団体・役職は、令和7年6月30日現在の役職名)

	役職	氏 名	所属団体・役職	備考
1	評議員	中谷 明博	宮城県経済商工観光部長	
2	評議員	木村賢治朗	仙台市経済局長	
3	評議員	山本 俊二	宮城県商工会議所連合会 副会長	
4	評議員	峯浦 康宏	宮城県市長会 事務局長	
5	評議員	黒田 隆士	株式会社七十七銀行 常務取締役	
6	評議員	坂爪 敏雄	株式会社仙台銀行 代表取締役頭取	
7	評議員	渡辺 隆夫	東北電力株式会社 執行役員宮城支店長	
8	評議員	小野 和宏	宮城県町村会 理事兼事務局長	

	役職	氏 名	所属団体・役職	備考
1	理事長	千葉 隆政	一般財団法人みやぎ産業交流センター 理事長	
2	常務理事	槇 信弥	一般財団法人みやぎ産業交流センター 常務理事兼事務局長	
3	理 事	菅井 和宏	同和興業株式会社 代表取締役社長	
4	理 事	一力 敦彦	東北放送株式会社 代表取締役社長	
5	理 事	稻木 甲二	株式会社仙台放送 代表取締役社長	
6	理 事	石川 雄康	株式会社河北新報社 常務取締役 総務、事業、教育・防災連携担当	
7	理 事	千葉 隆史	株式会社ユアテック 執行役員宮城支社長	
8	理 事	青沼 廣利	一般社団法人みやぎ工業会 専務理事	
9	理 事	千坂 守	宮城県経済商工観光部 副部長	
10	理 事	高橋 勝美	仙台市経済局 イノベーション推進部長	
1	監 事	高橋 裕喜	宮城県中小企業団体中央会 専務理事	
2	監 事	桃井 健次	宮城県商工会連合会 専務理事	

令和 6 年度 事業報告書

令和 6 年度事業報告

I 総括

コロナ禍を経て、社会経済活動が堅調に推移し、様々なイベント活動がコロナ禍前の状況に回復してきている中、当財団の基幹事業である夢メッセみやぎの運営では、年度全体の催事開催件数は 341 件と前年度（324 件）から微増となり、コロナ禍前の平成 30 年度開催件数（365 件）と概ね同程度の状況（約 94 %）となりました。一方、主要な施設である本館展示場の利用状況については、利用件数 79 件・区画稼働率 43.4 % で、令和 5 年度（利用件数 70 件・区画稼働率 40.7 %）に比べ増加しておりますが、平成 30 年度（利用件数 93 件・区画稼働率 51.3 %）の約 85 % にとどまり、大規模催事は、依然、コロナ禍前の状況までの回復には至らず、施設全体では引き続き厳しい運営状況となりました。

こうした中、施設運営に当たっては、主催者にも来場者にも利便性が高く、安全に安心してご利用いただけるようサービスの向上に努めました。主催事業である「全国やきものフェア in みやぎ 2024」はじめ、「みやぎ元気まつり 2024」や、音楽イベント（「TOHOKU MUSIC JOURNEY 2024」）などの多彩な催事が開催され、多くのお客様にご来場いただき、たいへん賑わいました。

さらに、地域との連携については、「仙台港エリア振興会」の事務局として仙台港エリア内の店舗及び事業所との情報共有を図るとともに、「仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアム」のメンバーとしてエリア内の賑わい創出や活気溢れるまちづくりに参画しました。

II 実施事業

1 展示会等の開催、支援、誘致

(1) 展示会等の開催事業

- ① 全国やきものフェア in みやぎ 2024（7月 11 日～15 日 入場者数 36,391 人）
- ② みやぎ元気まつり 2024（8月 3 日～4 日 入場者数 24,000 人）
- ③ ビジネスマッチ東北 2024（11月 14 日 入場者数 6,331 人）

負担金 2,000,000 円（税込）

(2) 展示会等の開催支援事業

- ① JA グループ宮城営農支援フェスタ 2024（11月 20 日～21 日 入場者数 1,970 人）
開催支援金 600,000 円（税込）

② 小規模国際学術会議等開催支援

支援対象 夢メッセ西館又は仙台市内のその他の施設で開催される 100 人未満の国際学術会議

支援件数 3 件

支援総額 200,000 円（税込）

(3) 展示会等の誘致活動事業

- ① 首都圏での営業活動を行う MICE 誘致キャラバンに参加（7月 23 日～24 日）
- ② 南東北 3 県の展示施設間での情報交換（1月 30 日 情報交換会出席）
- ③ 仙台市内のコンベンション施設関係者との定期的な情報交換

（6月 27 日、2 月 28 日 情報交換会出席）

- ④ SENDAI Communication Fair in 仙台国際センター－SEN Com2025－へ出展

（2 月 27 日）

2 展示会等出展支援事業

国際見本市その他の見本市、展示会等への出展支援として「みやぎ優れMONO」認定製品の出展に対する助成

支援対象 宮城県の実施する「優れ MONO 認定事業」の認定を受けた工業製品

支援件数 2 件

支援総額 600,000 円（税込）

みやぎ優れ MONO 発信事業実行委員会負担金 700,000 円（税込）

3 展示会活用促進事業

(1) 見本市、展示会に関する講演会・セミナー等の開催

第 15 回夢メッセみやぎ講演会の開催（2月 18 日 参加者 59 人）

演題：『展示会出展時の集客力 UP 術 「来場者視点」で人だかりをつくる！』

講師：株式会社シャベリーズ 代表取締役 丸山 久美子 氏

会場：夢メッセみやぎ本館 会議棟 大ホール

(2) MICE 関連見本市等を通じての情報収集

(3) 全国展示場連絡協議会への参加

4 展示施設等効用増進事業

該当する施設・設備等の整備は無し。

III その他事業

1 展示施設等管理運営事業

(1) 夢メッセみやぎ管理運営事業

宮城県との「みやぎ産業交流センターの管理運営に関する基本協定書（令和 6 年 4 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日）」に基づき、「夢メッセみやぎ管理運営共同事業体」の代表団体として、利用者・来場者サービスの向上を図るとともに、施設の良好な維持管理・運営に努めました。

(2) 広報・宣伝等事業

広報・宣伝活動として、専門誌による施設紹介等の広報を行うとともに、ホームページでの各種イベントの案内や動画による施設紹介、主催者向けの各種情報提供等を実施し、一層の利用促進に努めました。

(3) 地域との連携事業

「仙台港エリア振興会」の事務局として、情報交換会を 2 回開催したほか、エリア内の店舗・事業所と連携し、賑わい創出、情報発信に努めました。

また、仙台港エリアの賑わいづくりを目的に、立地企業や宮城県・仙台市を含めた官民一体の組織として設立された「仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアム」に参画し、賑わいづくりに取り組みました。

令和6年度みやぎ産業交流センター（夢メッセみやぎ）利用状況

【本館 展示棟】

NO.	自	至	催事名	利用区画	利用日数	区画数	入場者数(人)
1	4/5	4/7	ルピシアグラン・マルシェ2024	1	3	3	10,000
2	4/7	4/8	Honda新商品勉強会	1	2	2	400
3	4/10	4/14	第43回東北どてらい市	3	5	11	4,034
4	4/15	4/16	2024年度春夏ファミマEXPO	3	2	6	1,600
5	4/26	4/28	東北カスタムカーショー2024in仙台	3	3	9	15,165
6	5/2	5/6	Dete fm仙台エコカーフェス powered by アベカツ	1	5	5	1,251
7	5/3		全日本プロレス 仙台大会	2	1	2	1,500
8	5/9	5/12	第10回みちのくミネラルマルシェ	1	4	4	2,000
9	5/15	5/18	協立フェア2024	1	4	4	1,200
10	5/23	5/26	Enjoy Honda	3	4	12	15,000
11	5/27	5/30	第5回CareTEX仙台'24	1	4	4	3,000
12	5/31	6/2	仕事研究 & インターンシップフェア仙台会場	3	3	9	2,500
13	6/3	6/6	建設技術公開「E E 東北'24」	3	4	12	10,000
14	6/7	6/8	東北みらい市2024	2	2	4	2,682
15	6/7	6/10	ユノメ家具特別企画 家具インテリア大バザール	1	4	4	3,000
16	6/9		仙台コミケ276	2	1	2	1,800
17	6/11	6/13	東北ジャパン建材フェア2024	3	3	9	2,000
18	6/14	6/16	宮城トヨタ Presents M T G パーツフェア2024	2	3	6	3,000
19	6/14	6/16	2024年セキスイハイムお客様大感謝祭	1	3	3	1,000
20	6/18	6/20	JAグループ宮城 農業機械フェア2024	2	3	6	1,500
21	6/21	6/23	第64回仙台伊藤忠ファミリーフェア	2	3	6	8,000
22	6/25	6/27	2024 仙台テクニカルフェア	1	3	3	866
23	6/28	6/29	将棋日本シリーズJTプロ公式戦／テーブルマーク子供大会 東北大会	2	2	4	1,233
24	7/1	7/2	マイナビ進学ライブ・未来ビュー仙台会場	2	2	4	2,000
25	7/4	7/8	グラブルEXTRAフェス2024	3	5	15	6,000
26	7/9	7/15	全国やきものフェアinみやぎ2024	3	7	21	36,391
27	7/16	7/20	つなぐ東北グランドフェア2024	3	5	15	7,000
28	7/22	7/24	国分東北(株)2024年秋冬総合展示商談会	3	3	9	1,100
29	7/25	7/27	2024 仙台マルティフェア	1	3	3	3,500
30	7/27	7/28	ONE PIECEカードゲームチャンピオンシップ2024 1次予選宮城大会	1	2	2	1,500
31	8/1	8/4	仙台放送presents みやぎ元気まつり2024	3	4	12	24,000
32	8/15	8/19	ユノメ家具特別企画 家具インテリア大バザール	1	5	5	3,000
33	8/22	8/25	ツルハファミリーフェスタ2024仙台	3	4	12	25,000
34	9/3	9/4	ソリューションエンジニアコンテスト/技能グランプリ全国大会2024	2	2	4	400
35	9/6	9/7	第16回夢メッセみやぎトータルフェア	3	2	6	4,669
36	9/8		仙台コミケ277	1	1	1	1,000
37	9/10	9/11	サトー商会外食部大展示会	1	2	2	622
38	9/10	9/11	第12回まごころ収受コンテスト	1	2	2	100
39	9/13	9/16	東北マツダ特設展示会	1	4	4	400
40	9/13	9/14	エネサンスフェスタ2024	1	2	2	800
41	9/19	9/21	オートアフターマーケット東北2024	2	3	6	1,500
42	9/22	9/25	2024年秋期 セブン-イレブン商品展示会	3	4	12	4,500
★ 43	9/26	9/29	エクステリア・ガーデン お庭のリフォーム展示会	2	4	6	7,000
44	10/1	10/3	製菓・製パン原材料・機械の総合展示会	1	3	3	866
45	10/8	10/11	ミライとつながるミライフェア	2	4	8	1,400
46	10/16	10/19	2024東北ウェルディングフェスタ	2	4	8	1,800
47	10/20		マイナビ仕事研究 & インターンシップフェア仙台会場	3	1	3	1,300
48	10/25	10/26	JFEスチールせんだいフェスタ2024	1	2	2	1,000
49	10/25	10/26	ドラゴンボールスーパーカードゲーム フュージョンワールド	1	2	2	254
★ 50	11/1	11/3	日本の技フェア	1	3	3	4,000

※1

※2

【本館 展示棟】

NO.	自	至	催事名	利用区画	利用日数	区画数	入場者数(人)
51	11/7	11/11	ユノメ家具特別企画 家具インテリア大バザール	1	5	5	3,000
52	11/8	11/11	仙台伊藤忠ファミリーフェア	2	3	6	8,000
53	11/12	11/14	ビジネスマッチ東北2024	3	3	9	6,331
54	11/16		全日本プロレス 仙台大会	2	1	2	1,000
55	11/17		仙台コミケ278 & Sendai I・Doll VOL.16	2	1	2	1,000
56	11/19	11/21	JAグループ宮城営農支援フェスタ2024	2	3	6	1,970
57	11/22	11/23	ままばれ祭り	1	2	2	5,000
58	11/22	11/24	DARTSLIVE OPEN 2024 MIYAGI 2nd	1	3	3	1,700
59	11/27		新日本プロレス「WORLD TAG LEAGUE 2024」仙台大会	2	1	2	1,000
60	12/5	12/9	TOHOKU MUSIC JOURNEY 2024	5	3	15	14,200
61	12/13	12/15	冬スポ!!WINTER SPORTS FESTA season24	1	3	3	6,189
62	1/17	1/19	宮城・仙台新築リフォームフェア	2	3	6	8,867
63	1/20	1/22	国分東北(株)2025春夏総合展示商談会	3	3	9	1,100
64	1/25	1/26	第37回介護福祉士国家試験	3	2	6	1,900
65	1/31	2/1	マイナビ就活直前フェア仙台会場	3	2	6	1,000
66	2/4	2/6	第36回総合展示見本市	1	3	3	530
67	2/6	2/9	若きクリエーター展 & 職業体験フェスタ	2	4	8	4,000
68	2/14	2/16	東北マツダ特設展示会	2	3	6	1,000
69	2/21	2/23	J S 東北 & 南海部品仙台店バイクフェスタ2025in夢メッセみやぎ	2	3	6	2,000
70	2/21	2/25	ユノメ家具特別企画 家具インテリア大バザール	1	5	5	3,000
71	2/26	2/27	2025年度春夏ファミマEXPO	3	2	6	1,500
72	2/28	3/2	第24回伊藤忠ファミリーフェア～仙台Ciss決算感謝祭～	2	3	6	8,119
73	3/4	3/8	HOUSING SOLUTION FAIR	1	5	5	2,000
74	3/14	3/16	JU宮城仙台支部 中古車フェア	2	3	6	2,000
75	3/17	3/20	SEVEN-ELEVEN Innovation Expo2025	3	4	12	4,500
76	3/21	3/23	東北キャンピングカーショー2025	3	3	9	13,219
77	3/24	3/25	2025年上期ローンセミナー	3	2	6	1,500
78	3/28	3/29	Ethics Fan Meeting 2025、春。	2	2	4	3,200
79	3/30		仙台コミケ279	2	1	2	1,710
					237	468	344,368

※1 2日間のみ1区画利用

※2 2日間のみ2区画利用

★ 新規催事

【西館 展示場】

NO.	自	至	催事名	利用 日数	入場者数 (人)
1	5/29		G S フェアー2024 IN仙台	1	300
2	6/3	6/6	建設技術公開「EE 東北'24」	4	—
3	6/22	6/23	ドラゴンボールスーパーカードゲーム フュージョンワールド チャンピオンシップ20	2	750
4	6/30		みちのくCOMITIA12～創作旅行～仙台出張	1	500
5	7/5	7/8	プロダーツトーナメントPERFECT/アマチュアダーツトーナメントEVOL	4	500
6	7/8	7/10	マツモトパックフェスタ2024	3	500
7	7/17	7/20	つなぐ東北グランドフェア2024	4	—
8	7/27	7/28	バトラーズツアー2024宮城会場	2	700
9	8/27	8/28	第42回年末商品展示提案会	2	1,000
10	8/29	9/1	第3回 骨董アートコレクション東北 夏の陣	4	1,000
11	9/4		ソリューションエンジニアコンテスト/技能グランプリ全国大会2024	1	—
12	9/6	9/8	BMW Service Lounge Caravan SENDAI	3	1,500
13	9/13	9/15	住まいるフェスタin仙台	3	100
14	10/4	10/6	遊戯王 エリアチャンピオンシップ	3	800
15	10/16	10/17	2024リフレイン展示会	2	100
16	10/25	10/27	BMW・MINIスペシャル・ドライブ・フェア2024	3	500
17	11/19	11/20	水道DX展示会	2	300
18	11/30	12/1	ウルトラリーグリリースイベント仙台会場	2	200
19	1/25	1/26	第37回介護福祉士国家試験	2	—
20	3/14	3/15	ディズニーロルカナ・スタートツアー	2	1,500
21	3/28	3/30	BMW・MINIドライブキャラバン2025	3	500
				52	10,750

※1 7月8日異なる催事による重複利用があったため、
区画数合計から重複利用数を引いて計上

★ 新規催事

【西館 ホール】

NO.	自	至	催事名	利用日数	入場者数(人)
1	4/18	4/21	住まいのリフォーム博	4	400
2	5/12		DDTプロレス 仙台大会	1	270
3	5/13	5/15	TECHNOSYSTEM FAIR 2024	3	—
4	5/17	5/19	リフォーム展示会	3	200
5	6/4	6/6	建設技術公開「E E 東北'24」	3	—
6	6/7	6/10	イラストレーターズフェスティバル	4	400
7	6/12	6/13	東洋工業 3社合同研修会	2	150
8	6/16		G O L D 祭	1	700
9	6/20		CPDSセミナー2024	1	40
★ 10	6/21	6/23	ガスフェス2024	3	2,271
★ 11	6/30	7/1	STYLING COLLECTION 2024 in Tohok	2	200
12	7/12		日産サティオ宮城3社合同既販車研修	1	35
13	7/17	7/20	つなぐ東北グランドフェア2024	4	—
14	7/27	7/28	ONE PIECEカードゲームチャンピオンシップ2024 1次予選宮城大会	2	—
15	7/29	7/30	サンゲツ 施工・クレーム講習会	2	40
16	8/9	8/12	住まいのリフォーム博	4	400
17	8/18		プロレスリングFREEDOMS仙台大会	1	200
18	8/20		大東建託第51期8月度工程会議	1	100
19	8/27	8/28	第42回年末商品展示提案会	2	—
20	8/30	9/1	ダイクリフォーム展示会	3	200
21	9/3	9/4	ソリューションエンジニアコンテスト/技能グランプリ全国大会2024	2	—
★ 22	9/7		みちのくプロレス仙台大会	1	200
★ 23	9/13	9/17	絵画展示販売会	5	500
★ 24	9/27	9/28	こどものとも東北 保育環境総合展示会	2	60
★ 25	9/30		日産サティオ宮城2024年度下期店長・マネージャー合同会議	1	50
★ 26	10/4	10/6	Nissho住まいのリフォームフェア	3	400
★ 27	10/12	10/14	2024 MAC-TOOLS TOOL FAIR	3	400
★ 28	10/19		東京女子プロレス	1	200
★ 29	10/25	10/27	ZANE ARTS テント展示会	3	500
30	11/8	11/11	絵画展示販売会	4	500
31	11/17		みちのくプロレス仙台大会	1	200
32	11/20	11/21	ウォークアラウンドコンテスト北海道・東北地区大会	2	100
33	11/30		Japan Dancer's Championship 2025 東北予選	1	400
34	12/6	12/8	TOHOKU MUSIC JOURNEY 2024	3	—
35	1/10	1/13	住まいのリフォーム博	4	400
36	1/17	1/19	ふりそでアミ 振袖大展示会	3	200
37	2/9		DDTプロレス「仙台新伝説2025～すんだもち～」	1	250
38	2/16		SOME CITY 2024-2025 SENDAI PLAYOFF	1	200
39	2/22		STARDOM in SENDAI 2025Feb	1	300
40	3/7	3/9	ふりそでアミ 振袖大展示会	3	200
41	3/14	3/16	Nissho住まいのリフォームフェアin夢メッセみやぎ西館ホール	3	160
42	3/31		日産サティオ宮城 2025年度上期店長・マネージャー合同会議	1	50
				96	10,876

★ 新規催事

◇ 施設利用件数

(単位:件)

区分	令和 5 年度	令和 6 年度
本館展示場	70	79
本館大ホール	97	91
本館会議室	32	57
本館屋外展示場	22	26
西館展示場	20	21
西館ホール	31	42
西館会議室	139	111
西館研修室	11	13
計	422	440

◇ 稼動率

[本館 展示場]

	令和 5 年度		令和 6 年度	
	日数	面積(区画)	日数	面積(区画)
利用 (①)	203	440	215	468
有効 (②)	360	1,080	359	1,077
稼動率 (① ÷ ② × %)	56.3%	40.7%	59.8%	43.4%

[西館 展示場]

	令和 5 年度	令和 6 年度
	日数	日数
利用 (①)	61	52
有効 (②)	360	359
稼動率 (① ÷ ② × %)	16.9%	14.4%

[西館 ホール]

	令和 5 年度	令和 6 年度
	日数	日数
利用 (①)	85	96
有効 (②)	360	359
稼動率 (① ÷ ② × %)	23.6%	26.7%

令和 6 年度 決算報告書

- ・ 貸借対照表
- ・ 正味財産増減計算書
- ・ 正味財産増減計算書 内訳表
- ・ 財務諸表に対する注記
- ・ 附属明細書
- ・ 財産目録

貸借対照表

令和 7年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	96,557	97,418	△ 861
預金	206,017,278	173,610,282	32,406,996
未収利息	1,665,395	1,964,697	△ 299,302
未収金	14,511,759	14,695,674	△ 183,915
前払金	0	51,779	△ 51,779
立替金	227,288	580,823	△ 353,535
前払費用	361,413	1,067,559	△ 706,146
貸倒引当金	△ 211,388	0	△ 211,388
流動資産合計	222,668,302	192,068,232	30,600,070
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	8,448,374	9,684,143	△ 1,235,769
投資有価証券	1,770,551,626	1,769,315,857	1,235,769
基本財産合計	1,779,000,000	1,779,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	9,659,000	8,102,000	1,557,000
減価償却引当資産	82,919,159	91,496,959	△ 8,577,800
施設補修積立資産	167,345,500	167,345,500	0
特定資産合計	259,923,659	266,944,459	△ 7,020,800
(3) その他固定資産			
投資有価証券	105,228,849	132,630,563	△ 27,401,714
建物付属設備	2,993,705	3,475,944	△ 482,239
構築物	547,835	603,911	△ 56,076
車両運搬具	5	5	0
什器備品	5,965,178	6,445,970	△ 480,792
ソフトウェア	3,259,667	4,109,467	△ 849,800
破産更生債権等	291,037	0	291,037
貸倒引当金	△ 291,037	△ 454,610	163,573
その他固定資産合計	117,995,239	146,811,250	△ 28,816,011
固定資産合計	2,156,918,898	2,192,755,709	△ 35,836,811
資産合計	2,379,587,200	2,384,823,941	△ 5,236,741
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	28,765,778	32,763,372	△ 3,997,594
前受金	42,822,065	44,830,175	△ 2,008,110
預り金	1,400,140	2,084,759	△ 684,619
仮受金	1,120	0	1,120
賞与引当金	4,681,116	4,425,068	256,048
未払法人税等	10,399,400	10,399,400	0
未払消費税等	3,709,700	7,158,500	△ 3,448,800
流動負債合計	91,779,319	101,661,274	△ 9,881,955
2. 固定負債			
退職給付引当金	9,659,000	8,102,000	1,557,000
固定負債合計	9,659,000	8,102,000	1,557,000
負債合計	101,438,319	109,763,274	△ 8,324,955
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	1,779,000,000	1,779,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(1,779,000,000)	(1,779,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	499,148,881	496,060,667	3,088,214
正味財産合計	(250,264,659)	(258,842,459)	(△ 8,577,800)
負債及び正味財産合計	2,278,148,881	2,275,060,667	3,088,214
	2,379,587,200	2,384,823,941	△ 5,236,741

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	9,707,420	10,201,259	△ 493,839
基本財産運用益	9,706,523	10,197,563	△ 491,040
基本財産受取利息	897	3,696	△ 2,799
②特定資産運用益	36,755	36,741	14
特定資産運用益	35,000	35,000	0
特定資産受取利息	1,755	1,741	14
③事業収益	409,410,971	399,228,846	10,182,125
施設利用料収益	404,122,556	395,103,859	9,018,697
展示会開催事業収益	1,924,496	1,282,865	641,631
自販機等利用料収益	3,363,919	2,842,122	521,797
④雑収益	2,815,064	2,580,828	234,236
受取利息	425	0	425
有価証券運用益	863,494	920,000	△ 56,506
雑収益	1,951,145	1,660,828	290,317
経常収益計	421,970,210	412,047,674	9,922,536
(2) 経常費用			
①事業費			
展示会開催費	404,410,738	404,408,393	2,345
展示会開催支援費	12,952,793	16,849,355	△ 3,896,562
展示会出展助成費	730,911	2,454,547	△ 1,723,636
委託管理費	1,194,546	1,068,146	126,400
維持管理費	113,391,390	102,998,600	10,392,790
施設補修費	41,013,980	39,378,800	1,635,180
水道光熱費	6,582,580	4,491,120	2,091,460
備品購入費	83,276,989	81,857,802	1,419,187
管理運営消耗品費	1,755,640	0	1,755,640
行政財産目的外使用料	3,222,824	1,799,166	1,423,658
納付金	1,891,101	1,908,729	△ 17,628
減価償却費	36,363,638	51,851,853	△ 15,488,215
広告宣伝費	5,943,507	3,408,193	2,535,314
役員報酬	2,078,698	2,201,955	△ 123,257
給料手当	6,554,062	6,548,608	5,454
賞与引当金繰入額	48,425,809	46,425,167	2,000,642
法定福利費	4,681,116	4,425,068	256,048
退職金掛金	9,572,847	9,701,581	△ 128,734
退職給付費用	2,112,000	2,112,000	0
福利厚生費	1,557,000	1,060,000	497,000
諸謝金	1,354,732	1,527,750	△ 173,018
会議費	150,000	500,000	△ 350,000
旅費交通費	0	14,111	△ 14,111
通信運搬費	558,170	697,649	△ 139,479
新聞図書費	2,055,646	1,914,743	140,903
印刷費	90,120	65,670	24,450
関係団体諸会費	107,000	488,000	△ 381,000
交際費	300,210	295,957	4,253
修繕費	365,910	309,822	56,088
事務用消耗品費	310,054	322,026	△ 11,972
使用料及び賃借料	689,357	808,183	△ 118,826
	1,915,252	1,835,204	80,048

科目	当年度	前年度	増減
保険料	113,830	115,270	△ 1,440
租税公課	174,500	234,800	△ 60,300
委託費	1,010,000	3,340,000	△ 2,330,000
支払手数料	44,450	97,290	△ 52,840
負担金	64,641	82,404	△ 17,763
研修費	49,200	13,637	35,563
保守料	709,447	714,214	△ 4,767
雑費	508,000	0	508,000
貸倒引当金繰入額	211,388	163,573	47,815
事業所税	10,327,400	10,327,400	0
②管理費	13,148,831	13,967,525	△ 818,694
役員報酬	7,875,600	7,881,328	△ 5,728
給料手当	2,602,186	2,531,513	70,673
法定福利費	1,592,457	1,601,269	△ 8,812
福利厚生費	43,000	32,140	10,860
会議費	167,200	213,950	△ 46,750
旅費交通費	137,736	178,242	△ 40,506
通信運搬費	1,560	1,040	520
新聞図書費	1,640	3,273	△ 1,633
印刷費	0	61,900	△ 61,900
関係団体諸会費	294,910	305,638	△ 10,728
寄附金	0	10,000	△ 10,000
交際費	13,637	0	13,637
使用料及び賃借料	0	22,000	△ 22,000
租税公課	37,200	25,250	11,950
委託費	345,600	314,200	31,400
支払手数料	9,650	4,100	5,550
負担金	4,636	3,710	926
研修費	21,819	0	21,819
投資有価証券償却	0	777,972	△ 777,972
経常費用計	417,559,569	418,375,918	△ 816,349
評価損益等調整前当期経常増減額	4,410,641	△ 6,328,244	10,738,885
投資有価証券評価損益等	△ 1,370,000	606,000	△ 1,976,000
投資有価証券評価損益等	△ 1,370,000	606,000	△ 1,976,000
評価損益等計	△ 1,370,000	606,000	△ 1,976,000
当期経常増減額	3,040,641	△ 5,722,244	8,762,885
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
貸倒引当金戻入額	163,573	0	163,573
経常外収益計	163,573	0	163,573
(2) 経常外費用			
投資有価証券償還損	44,000	0	44,000
投資有価証券償還損	44,000	0	44,000
経常外費用計	44,000	0	44,000
当期経常外増減額	119,573	0	119,573
税引前当期一般正味財産増減額	3,160,214	△ 5,722,244	8,882,458
法人税・住民税及び事業税	72,000	72,000	0
当期一般正味財産増減額	3,088,214	△ 5,794,244	8,882,458
一般正味財産期首残高	496,060,667	501,854,911	△ 5,794,244
一般正味財産期末残高	499,148,881	496,060,667	3,088,214
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,779,000,000	1,779,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,779,000,000	1,779,000,000	0
III 正味財産期末残高	2,278,148,881	2,275,060,667	3,088,214

正味財產增減計算書內訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

3. 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の有価証券については、償却原価法を採用している。その他有価証券は期末時価により評価している。

(2)固定資産の減価償却の方法

法人税法に定める耐用年数を用いて、定額法による減価償却を実施している。

(3)引当金の計上基準

・貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。

・賞与引当金

職員に対する賞与支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を引当計上している。

・退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、期末要支給額を充足するよう引当計上している。

(4)消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	0	259,359,449	259,359,449	0
定期預金	9,684,143	13,587,874	14,823,643	8,448,374
投資有価証券	1,769,315,857	245,771,575	244,535,806	1,770,551,626
小計	1,779,000,000	518,718,898	518,718,898	1,779,000,000
特定資産				
退職給付引当資産				
普通預金	8,102,000	2,617,000	1,060,000	9,659,000
減価償却引当資産				
普通預金	21,496,959	0	8,577,800	12,919,159
定期預金	70,000,000	70,000,000	70,000,000	70,000,000
施設補修積立資産				
普通預金	100,000,000	0	0	100,000,000
定期預金	17,345,500	17,345,500	17,345,500	17,345,500
投資有価証券	50,000,000	0	0	50,000,000
小計	266,944,459	89,962,500	96,983,300	259,923,659
合計	2,045,944,459	608,681,398	615,702,198	2,038,923,659

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	0	0	(0)	—
定期預金	8,448,374	(8,448,374)	(0)	—
投資有価証券	1,770,551,626	(1,770,551,626)	(0)	—
小計	1,779,000,000	(1,779,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	9,659,000	—	—	(9,659,000)
減価償却引当資産	82,919,159	(0)	(82,919,159)	—
施設補修積立資産	167,345,500	(0)	(167,345,500)	—
小計	259,923,659	(0)	(250,264,659)	(9,659,000)
合計	2,038,923,659	(1,779,000,000)	(250,264,659)	(9,659,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
建物付属設備	6,957,963	3,964,258	2,993,705
構築物	1,121,557	573,722	547,835
車両運搬具	10,919,365	10,919,360	5
什器備品	47,941,682	41,976,504	5,965,178
ソフトウェア	7,806,100	4,546,433	3,259,667
合計	74,746,667	61,980,277	12,766,390

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産			
中期国債(456)	149,873,693	149,251,048	△ 622,645
中期国債(455)	99,996,460	99,640,000	△ 356,460
長期国債(347)	49,756,476	49,190,000	△ 566,476
長期国債(369)	100,000,000	94,410,000	△ 5,590,000
超長期国債(148)	198,963,332	199,999,999	1,036,667
超長期国債(151)	98,312,430	94,347,102	△ 3,965,328
超長期国債(10)	78,282,356	77,909,800	△ 372,556
宮城県債(31-1)	50,000,000	49,975,000	△ 25,000
宮城県債(35-2)	100,000,000	94,840,000	△ 5,160,000
兵庫県債(5)	100,000,000	99,360,000	△ 640,000
札幌市債(26-5)	100,000,000	98,930,000	△ 1,070,000
仙台市債(29-1)	100,000,000	85,810,000	△ 14,190,000
共同地方債(223)	150,000,000	139,020,000	△ 10,980,000
大阪府債(463)	99,782,593	93,430,000	△ 6,352,593
神奈川県債(237)	99,765,263	96,410,000	△ 3,355,263
京都府債 (30-11)	98,825,176	96,690,000	△ 2,135,176
宮崎県債 (2-1)	96,993,847	93,810,000	△ 3,183,847
小計	1,770,551,626	1,713,022,949	△ 57,528,677
特定資産			
宮城県債(32-1)	50,000,000	49,530,000	△ 470,000
小計	50,000,000	49,530,000	△ 470,000
その他の固定資産			
中期国債(456)	209,823	208,951	△ 872
超長期国債(148)	1,889,702	1,900,000	10,298
超長期国債(151)	3,358,410	3,222,897	△ 135,513
超長期国債(10)	990,914	986,200	△ 4,714
小計	6,448,849	6,318,048	△ 130,801
合計	1,827,000,475	1,768,870,997	△ 58,129,478

4. 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記3に記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金（流）	454,610	47,815	0	291,037	211,388
貸倒引当金（固）	0	291,037	0	0	291,037
賞与引当金	4,425,068	4,681,116	4,425,068	0	4,681,116
退職給付引当金	8,102,000	1,557,000	0	0	9,659,000

※貸倒引当金（流）のその他減少額は貸倒引当金（固）への振替額である。

5.財産目録

令和 7年 3月 31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	96,557
	預金	普通預金 七十七銀行本店 七十七銀行本店 七十七銀行多賀城支店 仙台銀行多賀城支店 仙台銀行多賀城支店	運転資金の運用として	6,793,755 144,680,560 1,632 53,224,108 1,317,223
	未収利息	有価証券等未収利息	運転資金として	1,665,395
	未収金	施設利用者等 全46件	施設利用料未収額等	14,511,759
	立替金	主催事業事務局に対する立替金	全国やきもののフェア事務局経費立替	227,288
	前払費用	事業経費前払	保険料・保守料等	361,413
	貸倒引当金	一括評価金銭債権に対する引当金	実績率による額	△ 211,388
	流動資産合計			222,668,302
	(固定資産)			
	基本財産	定期預金 投資有価証券	七十七銀行本店 仙台銀行多賀城支店 第456回中期利付国債 第455回中期利付国債 第347回長期利付国債 第369回長期利付国債 第148回超長期国債 第151回超長期利付国債 第10回超長期利付国債 宮城県債第31回1号 宮城県債第35回2号 兵庫県債第5回 平成26年度第5回札幌市債 仙台市平成29年度第1回公募公債 第223回共同発行市場公募地方債 第463回大阪府公募公債 神奈川県債第237回 平成30年度第11回京都府公募公債 令和2年度第1回宮崎県公募公債	6,396,220 2,052,154 149,873,693 99,996,460 49,756,476 100,000,000 198,963,332 98,312,430 78,282,356 50,000,000 100,000,000 100,000,000 100,000,000 100,000,000 100,000,000 150,000,000 99,782,593 99,765,263 98,825,176 96,993,847
特定資産	退職給付引当資産	決済用預金 七十七銀行本店 決済用預金 七十七銀行多賀城支店	寄附により受け入れた財産であり、運用益を法人会計の財源として使用している	9,659,000
	減価償却引当資産	決済用預金 七十七銀行本店 定期預金 七十七銀行本店	施設管理運営事業の積立資産であり、備品等の取得資金として管理されている資金	12,919,159 70,000,000
	施設補修積立資産	普通預金 仙台銀行多賀城支店 定期預金 仙台銀行多賀城支店 宮城県債第32回1号	施設管理運営事業の積立資産であり、施設の補修資金として管理されている資金	100,000,000 17,345,500 50,000,000
	その他固定資産	投資有価証券	東京電力パワーグリッド第8回社債 第456回中期利付国債 第148回超長期国債 第151回超長期利付国債 第10回超長期利付国債	運用益を事業に充当するため 209,823 1,889,702 3,358,410 990,914
	建物付属設備	事務室内間仕切等 構築物 車両運搬具 什器備品 ソフトウェア	施設管理運営事業に使用している	2,993,705 547,835 5 5,965,178 3,259,667
	破産更生債権等		債権の回収が困難なもの	291,037
	貸倒引当金		債権の貸倒による損失に備えたもの	△ 291,037
	固定資産合計			2,156,918,898
	資産合計			2,379,587,200
(流动負債)	未払金	取引先等 全77件	各事業経費期末未払額等	28,765,778
	前受金	施設利用者等 全67件	施設利用料予約金等	42,822,065
	預り金	職員からの預り金	社会保険料等	1,400,140
	仮受金		公衆型携帯充電器収益	1,120
	賞与引当金		職員に対する賞与支払いに備えたもの	4,681,116
	未払法人税等			10,399,400
	未払消費税等			3,709,700
流动負債合計				91,779,319
(固定負債)	退職給付引当金		職員に対する退職金の支払いに備えたもの	9,659,000
固定負債合計				9,659,000
負債合計				101,438,319
正味財産				2,278,148,881

監査報告書

一般財団法人みやぎ産業交流センター

理事長 千葉 隆政 殿

監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、当財団定款第9条の規定に基づき、本報告書を作成し、以下のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及びその附属明細書について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれらの附属明細書）について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和7年5月15日

一般財団法人みやぎ産業交流センター

監事 稲妻敏行



令和 6 年度 公益目的支出計画実施報告書

【別紙1：法人の基本情報】

法人コード	A 0 0 9 2 6 7
-------	---------------

1. 基本情報

フリガナ	イッパンザイダンホウジンミヤギサンギョウコウリュウセンター				
法人の名称	一般財団法人みやぎ産業交流センター				
主たる事務所の住所及び連絡先					
住所	郵便番号	都道府県名	市区町村丁番地等		補足住所
	983-0001	宮城県	仙台市宮城野区港3丁目1番7号		
代表電話番号	022-254-7111	内線		FAX番号	022-254-7110
代表電子メールアドレス	info@yumemesse.or.jp				
ホームページの有無	有				
ホームページアドレス	https://www.yumemesse.or.jp/				
代表者の氏名	千葉 隆政				
事業年度	4月1日～3月31日				
事業の概要	国際見本市その他の見本市、展示会、会議、イベント、大会等の開催及び支援等に関する事業を行うことにより、宮城県の産業振興、地域経済の発展に寄与する。				

【別紙2：公益目的支出計画実施報告書】

2. 公益目的支出計画実施報告書

【令和6年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）の概要】

1. 公益目的財産額	2,269,796,581 円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額(①+②-③)	659,284,895 円
① 前事業年度末日の公益目的収支差額	616,553,835 円
② 当該事業年度の公益目的支出の額	44,655,556 円
③ 当該事業年度の実施事業収入の額	1,924,496 円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	1,610,511,686 円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 ^注	当該事業年度の公益目的収支差額は、下表のとおり計画を上回った。なお、公益目的支出計画の実施期間があと37年間である一方、今年度までの公益目的収支差額の計画額との差額は95,634,095円であり、今後の実施事業の規模を鑑みても、実施期間に関しては影響がないと考える。

注：詳細は、別紙様式に個別の実施事業等ごとに記載してください。

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の完了予定事業年度の末日	①. 計画上の完了見込み	令和44年 3月31日
	②. ①より早まる見込みの場合	令和 年 月 日

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	2,269,796,581 円				
公益目的収支差額	516,679,900 円	616,553,835 円	563,650,800 円	659,284,895 円	610,621,700 円
公益目的支出の額	47,470,900 円	49,769,950 円	47,470,900 円	44,655,556 円	47,470,900 円
実施事業収入の額	500,000 円	1,282,865 円	500,000 円	1,924,496 円	500,000 円
公益目的財産残額	1,753,116,681 円	1,653,242,746 円	1,706,145,781 円	1,610,511,686 円	1,659,174,881 円

※前事業年度及び当該事業年度の計画及び実施の額、翌事業年度の計画の額を記載してください。

②〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業（継続事業）の状況等】

（事業単位ごとに作成してください。）

事業番号	事業の内容
継1	見本市、展示会等の誘致、開催、支援事業

（1）計画記載事項

事業の概要	
(1)趣旨	国際見本市その他の見本市、展示会、会議、イベント、大会等の誘致、開催及び支援等に関する事業を行うことにより、宮城県の産業振興、地域経済発展に寄与する。
(2)内容	<p>1)国際見本市その他の見本市、展示会、会議、イベント、大会等の誘致・開催 [内容] 展示会産業の推進による産業振興・地域経済発展を図ることを目的に宮城県の施策に沿った各種産業見本市や展示会等を企画・運営するとともに、見本市や展示会等を積極的に誘致している。 また、各種イベント等の開催を通し、地域の文化振興や交流活性化を積極的に推進している。</p> <p>2)国際見本市その他の見本市、展示会、会議、イベント、大会等の開催支援 [内容] 展示会産業の推進による産業振興・地域経済発展を図ることを目的に、宮城県の施策に沿った各種見本市や展示会について、その開催を支援している。更に(公財)仙台観光コンベンション協会と連携して展示会開催支援を行うとともに、(公財)みやぎ産業振興機構、(社)みやぎ工業会、(公財)仙台市産業振興事業団等が実施する事業に積極的に参画していく。</p> <p>3)他施設との連携による国際見本市その他の見本市、展示会、会議、イベント、大会等の誘致 [内容] 様々な業界の産業振興・地域経済発展を図ることを目的に、各種産業見本市や展示会等について、近隣施設と連携した誘致活動を推進する。</p>
(3)事業実施のための財源及び人員	<p>1)みやぎ産業交流センターの指定管理者として、管理運営によって得られる利用料金収入及び一部の展示会での出展料を財源として事業を実施する。</p> <p>2)事務局長及び事務局職員(7名)が本事業に従事する。</p> <p>3)施設概要 名称：みやぎ産業交流センター 場所：仙台市宮城野区港3丁目1-7 設備：7,500 平方メートルの展示場を擁する「展示棟」、大ホール・会議室・レストランなどから成る「会議棟」、展示棟に隣接し、展示会の幅を広げる「屋外展示場」の3つの空間を有する。</p>
① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	26,308,000円
② ツ 実施事業収入の見込額	200,000円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について

(1) 宮城県の施策に沿った各種産業見本市や展示会等を企画・運営するとともに、見本市や展示会等を積極的に誘致しました。

- ・全国やきものフェア in みやぎ 2024 (7月11日～15日 入場者数 36,391人)
- ・みやぎ元気まつり 2024 (8月3日～4日 入場者数 24,000人)
- ・ビジネスマッチ東北 2024 (11月14日 入場者数 6,331人)

負担金：2,000,000円（税込）

(2) 宮城県の施策に沿った各種見本市や展示会について、その開催の支援を行いました。

- ・JAグループ宮城 営農支援フェスタ 2024 (11月20日～21日 入場者数 1,970人)

開催支援金：600,000円（税込）

- ・小規模国際学術会議等開催支援事業

支援対象：夢メッセ西館又は仙台市内のその他の施設で開催される100人未満の国際学術会議

支援件数：3件

支援総額：200,000円（税込）

(3) 各種産業見本市や展示会等について、他施設と連携した誘致活動を展開しました。

- ・首都圏での営業活動を行うMICE誘致キャラバンに参加（7月23日～24日）
- ・SENDAI Communication Fair in 仙台国際センター —SEN Com2025— へ出展（2月27日）

① 当該事業に係る公益目的支出の額	16,279,944円
② ノ 実施事業収入の額	1,924,496円
③ ((①-②)) の額	14,355,448円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額	16,279,944円
⑤ ノ 損益計算書の収益の額	1,924,496円

①及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由^注

公益目的支出額の実績は計画を下回り、実施事業収入額の実績は計画を上回ったが、今後の実施事業の規模を鑑みても実施期間に関しては影響がないと考える。

注：この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

②〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業（継続事業）の状況等】

事業番号	事業の内容
継1	見本市、展示会等の誘致、開催、支援事業

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当っての考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書 の収益の額	②実施事業 収入の額	②の額の算定に当っての考え方 ^注
展示会開催事業収益	1,924,496円	1,924,496円	共催事業に係る収益等
計	1,924,496円	1,924,496円	

注：実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当っての考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書 の費用の額	②公益目的 支出の額	②の額の算定に当っての考え方 ^注
その他	16,279,944円	16,279,944円	異なる費用科目はないため、①と②は同額である。
計	16,279,944円	16,279,944円	

注：①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

②〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業（継続事業）の状況等】

（事業単位ごとに作成してください。）

事業番号	事業の内容
継2	見本市、展示会等出展支援事業

（1）計画記載事項

事業の概要	
(1)趣旨 国際見本市その他の見本市、展示会、会議、イベント、大会等の誘致、開催及び支援等に関する事業を行うことにより、宮城県の産業振興、地域経済発展に寄与する。	
(2)内容 1)国際見本市その他の見本市、展示会等への出展支援 [内容] 様々な業界の産業振興・地域経済発展を図ることを目的に、各種産業見本市や展示会等へ出展する事業者を支援し、展示会等が開催されやすい環境を作り、展示会利用者層の拡大を図っている。	
(3)事業実施のための財源及び人員 1)みやぎ産業交流センターの指定管理者として、管理運営によって得られる利用料金収入を財源として事業を実施する。 2)事務局長及び事務局職員(7名)が本事業に従事する。 3)施設概要 名称：みやぎ産業交流センター 場所：仙台市宮城野区港3丁目1-7 設備：7,500 平方メートルの展示場を擁する「展示棟」、大ホール・会議室・レストランなどから成る「会議棟」、展示棟に隣接し、展示会の幅を広げる「屋外展示場」の3つの空間を有する。	
① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	1, 334, 000円
② ハ 実施事業収入の見込額	0円

（2）当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について	
(1)国際見本市その他の見本市、展示会等への出展支援事業 様々な業界の産業振興・地域経済発展を図ることを目的に、各種産業見本市や展示会等へ出展する事業者を支援し、展示会等が開催されやすい環境を作り、展示会利用者層の拡大を図りました。 ・支援対象：宮城県の実施する「優れ MONO 認定事業」の認定を受けた工業製品 ・支援件数：2件 ・支援総額：600,000 円（税込） ・みやぎ優れ MONO 発信事業実行委員会負担金：700,000 円（税込）	
① 当該事業に係る公益目的支出の額	1, 195, 092円
② ハ 実施事業収入の額	0円
③ (①-②) の額	1, 195, 092円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額	1, 195, 092円
⑤ ハ 損益計算書の収益の額	0円
① 及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 ^注	
公益目的支出額の実績は計画を下回ったが、今後の実施事業の規模を鑑みても実施期間に関しては影響がないと考える。	

注：この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

②〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業（継続事業）の状況等】

事業番号	事業の内容
継2	見本市、展示会等出展支援事業

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当っての考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書 の収益の額	②実施事業 収入の額	②の額の算定に当っての考え方 ^注
その他	0円	0円	
計	0円	0円	

注：実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当っての考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書 の費用の額	②公益目的 支出の額	②の額の算定に当っての考え方 ^注
その他	1,195,092円	1,195,092円	異なる費用科目はないため、①と②は同額である。
計	1,195,092円	1,195,092円	

注：①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

②〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業（継続事業）の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号	事業の内容
継3	展示会活用推進事業

(1) 計画記載事項

事業の概要	
(1)趣旨	
<p>展示会産業の地域経済、産業に及ぼす波及効果は大きなことから、講演会、展示会活用セミナー等の開催により啓発、周知することにより、見本市、展示会への出展、活用を促進し、宮城県の産業振興、地域経済発展に寄与する。</p> <p>また、全国展示場連絡協議会、日本展示会協会等の展示会産業関連業界の全国組織に加入し、連携して様々な活用方策の検討、実施を通じ展示会産業の一層の振興を図る。</p>	
(2)内容	
1)見本市、展示会に関する講演会の開催	
<p>見本市・展示会がもたらす経済波及効果の大きさ、イノベーション創出効果など、その意義や有用性を周知・啓発し、地域経済の活性化と発展を図ることを目的とし、講演会を開催するもの。</p>	
2)展示会活用セミナーの開催	
<p>展示会開催・出展が製品・商品等の情報発信、商談にいかに有効かを知ってもらうためのセミナーを開催するもの。</p>	
3)施設利用者との意見情報交換会の開催	
<p>展示会主催者、出展者、展示会関連事業者、夢メッセみやぎの指定管理者が一堂に会することにより、異業種間に新たな連携の機会を提供するとともに、施設に対する意見提言について運営に反映させるもの。</p>	
4)表彰事業	
<p>見本市・展示会に関わる事業者の意欲・技術の向上を図り、地域における展示会産業の発展を目指すもの。</p>	
5)展示会産業における全国組織との連携	
<p>以下の団体に加盟し、展示会産業統計の国際標準化企画誘致手法の研究、グリーン電力購入などの環境に配慮したエコ展示会等の研究、推進等に連携して取り組むことにより、展示会産業の振興、持続可能な展示会の促進等を図るもの。</p>	
〔加盟団体〕	
<ul style="list-style-type: none"> ・全国展示場連絡協議会（全国の公的展示施設管理者の組織。会員数 48 団体 53 施設） ・日本展示会協会（主催者、展示施設、展示会支援企業からなる団体。会員数 322 社・団体） 	
(3)事業実施のための財源及び人員	
1)みやぎ産業交流センターの指定管理者として、管理運営によって得られる利用料金収入及びセミナー・意見情報交換会の参加費を財源として事業を実施する。	
2)事務局長及び事務局職員(7名)が本事業に従事する。	
3)施設概要	
<p>名称：みやぎ産業交流センター</p> <p>場所：仙台市宮城野区港3丁目1-7</p> <p>設備：7,500 平方メートルの展示場を擁する「展示棟」、大ホール・会議室・レストランなどから成る「会議棟」、展示棟に隣接し、展示会の幅を広げる「屋外展示場」の3つの空間を有する。</p>	
① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	710,000円
② ツ 実施事業収入の見込額	300,000円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について	
(1) 見本市・展示会に関する講演会の開催	
見本市・展示会がもたらす経済波及効果の大きさ、イノベーション創出効果など、その意義や有用性を周知・啓発し、地域経済の活性化と発展を図ることを目的として、講演会を開催した。	
第15回夢メッセみやぎ講演会（2月18日 参加者59人）	
演題：『展示会出展時の集客力UP術 「来場者視点」で人だかりをつくる！』	
講師：株式会社シャベリーズ 代表取締役 丸山 久美子 氏	
会場：夢メッセみやぎ本館 会議棟大ホール	
(2) 展示会産業における全国組織との連携	
引き続き下記の団体に加盟し、展示会産業の振興に努めた。	
〔加盟団体〕	
・全国展示場連絡協議会（全国の公的展示施設管理者の組織。会員数51団体56施設）	
① 当該事業に係る公益目的支出の額	656,362円
② ノ 実施事業収入の額	0円
③ (①-②) の額	656,362円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額	656,362円
⑤ ノ 損益計算書の収益の額	0円
①及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 ^注	
公益目的支出額及び実施事業収入額の実績は計画を下回ったが、今後の実施事業の規模を鑑みても実施期間に関しては影響がないと考える。	

注：この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

【実施事業（継続事業）の状況等】

事業番号	事業の内容
継3	展示会活用推進事業

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当っての考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書 の収益の額	②実施事業 収入の額	②の額の算定に当っての考え方 ^注
その他	0円	0円	
計	0円	0円	

注：実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当っての考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書 の費用の額	②公益目的 支出の額	②の額の算定に当っての考え方 ^注
その他	656,362円	656,362円	異なる費用科目はないため、①と②は同額である。
計	656,362円	656,362円	

注：①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

②〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業（継続事業）の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号	事業の内容
継4	展示施設等効用増進事業

(1) 計画記載事項

事業の概要	
(1)趣旨	当財団はみやぎ産業交流センターの指定管理者として、管理運営によって得られる利用料金収入を財源として事業を実施するものであるが、稼働率を高め利用料の增收を図るために、利用者の利便性を高める施設設備の整備及び施設設備の安定的な稼働を確保するための整備を行うものである。
(2)内容	利用者の利便性を高める施設設備の整備及び施設設備の安定的な稼働を確保するための整備を行う。 従来、この事業は指定管理者募集の際の提案事業として実施されてきたものであるが、この他にも随時必要に応じ財団が実施してきたものであり、すべて宮城県に寄附してきた。
(3)事業実施のための財源及び人員	1)みやぎ産業交流センターの指定管理者として、管理運営によって得られる利用料金収入を財源として事業を実施する。 2)事務局長及び事務局職員(7名)が本事業に従事する。 3)施設概要 名称：みやぎ産業交流センター 場所：仙台市宮城野区港3丁目1－7 設備：7,500 平方メートルの展示場を擁する「展示棟」、大ホール・会議室・レストランなどから成る「会議棟」、展示棟に隣接し、展示会の幅を広げる「屋外展示場」の3つの空間を有する。
① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	600,000円
② ツ 実施事業収入の見込額	0円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について	
みやぎ産業交流センターの指定管理者として、利用者の利便性を高め、安定的な稼働を確保するため必要な都度施設設備の整備等を行ってきたが、今年度は本事業による整備等が必要な施設設備がなかったことから、当該事業を実施しなかった。	
① 当該事業に係る公益目的支出の額	0円
② ノ 実施事業収入の額	0円
③ (①-②) の額	0円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額	0円
⑤ ノ 損益計算書の収益の額	0円
①及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 ^注	
公益目的支出額の実績は計画を下回ったが、実施期間に関しては影響がないと考える。	

注：この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

②〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業（継続事業）の状況等】

事業番号	事業の内容
継4	展示施設等効用増進事業

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当っての考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書 の収益の額	②実施事業 収入の額	②の額の算定に当っての考え方 ^注
その他	0円	0円	
計	0円	0円	

注：実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当っての考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書 の費用の額	②公益目的 支出の額	②の額の算定に当っての考え方 ^注
その他	0円	0円	
計	0円	0円	

注：①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

④〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業等会計で「共通」に区分された収益・費用について】

損益計算書の「実施事業等会計」において「共通」の会計区分を設けている場合、その収益・費用について記載してください。

「共通」の会計区分を設けていない場合は、本表の作成は不要です。

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当っての考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の収益の額	②実施事業収入の額	②の額の算定に当っての考え方 ^注
	0円	0円	
計	0円	0円	

注：実施事業収入の額の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当っての考え方を記入してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の費用の額	②公益目的支出の額	②の額の算定に当っての考え方 ^注
その他	26,524,158円	26,524,158円	異なる費用科目はないため、①と②は同額である。
計	26,524,158円	26,524,158円	

注：①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

別表A〔公益目的支出計画実施報告書〕

【公益目的支出計画実施期間中の収支の見込について】

(1) その他の主要な事業について

変更の内容及び公益目的支出計画の実施に対する影響等 ^{注1}

特に変更なし。

注1：その他の主要な事業として、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」に記載した事業のうち、その事業の内容や実施方法に変更があった場合に、事業番号・変更の内容、その理由及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。

また、新たにその他の主要な事業を開始した場合は、その旨、当該事業の概要及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。

(2) 資産の取得や処分、借入について

実施内容（計画の変更内容）及び公益目的支出計画の実施に対する影響等 ^{注2}

特に変更なし。

注2：「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載した多額の借入れや施設の更新、高額財産の取得・処分等の活動を実施した場合は、公益目的支出計画に与えた影響を記載してください。また、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載したもののうち、計画内容に変更があった場合に、変更の内容、その理由及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。

また、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載したもの以外で、法人全体の財務に大きな影響を与える活動を新たに予定する場合は、その内容、理由及び公益目的支出計画に対する影響を記載してください。

公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書

一般財団法人みやぎ産業交流センター

理事長 千葉 隆政 殿

監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度事業における公益目的支出計画実施報告書について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第2項において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第1項（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第199条において準用する同法第124条第1項）及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律施行規則第43条の規定に基づき、本報告書を作成し、以下のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について検討しました。

2 監査意見

当法人の公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示していると認めます。

令和7年5月15日

一般財団法人みやぎ産業交流センター

監事 稲妻敏行

令和 7 年度 事業計画書

令和7年度事業計画

I 基本方針

コロナ禍を経て、社会経済活動は堅調に推移し、様々なイベント活動がコロナ禍前の状況に回復してきています。夢メッセみやぎにおいても、施設利用状況は上向いてきていますが、大規模催事は、依然、コロナ禍前の状況までの回復には至らず、経営の安定化に向け、施設利用の促進が求められる状況となっています。

このような中、本年10月に、夢メッセみやぎは開館30周年を迎えます。令和7年度においては、財団設立の趣旨・目的の実現に向けて、安定した運営への回復を目指すとともに、より一層の利用者サービスの向上、情報発信力の強化、業務の効率化に取り組みながら、次の3つの基本方針に沿って事業を展開していきます。

- 1 地域経済への波及効果が大きい各種展示会や見本市、イベント、会議等の開催・誘致を積極的に進めるとともに、展示会等の開催、出展支援や活用促進等の事業を展開し、宮城県の産業振興と地域経済の発展に貢献する。
- 2 これまでに培った管理運営ノウハウを十分に活かし、多様化するニーズに対応できるよう施設設備の更なる充実に努め、利用者サービスの向上と安全安心の確保を図るとともに、経済・産業団体やコンベンション関係団体との情報交換・連携、広報・宣伝活動を能動的に展開し、一層の施設利用の促進と経営の安定化を図る。
- 3 「仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアム」及び「仙台港エリア振興会」の活動に積極的に参画し、大型集客施設等との連携によるエリア全体の魅力発信に努め、仙台港周辺地域の賑わい創出と活気あふれるまちづくりに取り組む。

II 実施事業の概要

1 展示会等の開催、支援、誘致事業

(1) 展示会等の開催事業

経済波及効果が大きく地域産業の振興に資する展示会、イベント等を主催・共催する。

- ① 全国やきものフェア in みやぎ（7月）
- ② みやぎ元気まつり（8月）
- ③ ビジネスマッチ東北（11月）

(2) 展示会等の開催支援事業

県内の経済・産業等の関係団体と連携し、産業振興等の趣旨に沿った各種見本市や展示会等の開催を支援する。

- ① J A グループ宮城営農支援フェスタ
- ② 小規模国際学術会議等開催支援事業

(3) 展示会等の誘致活動事業

広く情報収集を行い、個別案件へのアプローチを強化するとともに、様々な媒体・機会を活用して、夢メッセみやぎについての情報発信を行なながら、PR活動、県内や隣県の施設との連携を視野に入れた展示会等の誘致活動を展開する。

- ① 夢メッセみやぎでの開催が有望な展示会等の主催者・代理店等への積極的な働きかけ
- ② 南東北3県の展示施設の連携による情報収集や誘致活動
- ③ 仙台市内のコンベンション関係施設の連携による情報収集や誘致活動

2 展示会等出展支援事業

地域の産業振興・経済発展につながることを目的に、産業見本市や展示会等へ出展する事業者を支援し、展示会等が開催されやすい環境をつくり、展示会利用者の拡大を図る。

○「みやぎ優れ MONO」認定製品の出展助成

みやぎ優れ MONO 発信事業実行委員会が認定する「みやぎ優れ MONO」製品の展示会等への出展料等を助成する。

3 展示会活用促進事業

企業活動の活発化や地域経済の活性化につなげるため、展示会等活用事例セミナー等を開催するほか、展示場関連全国組織が実施する事業に参加し、情報収集に努める。

- ① 展示会等の活用に関する講演会・セミナー等の開催
- ② M I C E 関連見本市等を通じての情報収集
- ③ 全国展示場連絡協議会関連事業への参加

4 展示施設等効用増進事業

夢メッセみやぎの指定管理者として、利用者の安全と利便性・快適性の向上を図り、より多くの利用を促進するため、必要に応じて施設・設備等を整備する。

III その他事業の概要

1 展示施設等管理運営事業

(1) 夢メッセみやぎ管理運営事業

令和7年度は、令和6年度を初年度とする5年間の指定管理期間の2年度目であり、引き続き、指定管理の事業計画に掲げた総合的な管理運営方針に基づき、一層の利用者サービスの向上、稼働率向上に努めるとともに、安全・安心で快適な利用環境を提供するため、必要な備品を整備する。

総合的な管理運営方針

- ① 夢メッセみやぎの機能を最大限に活かした産業振興機能の発揮
- ② 交流人口の増加による地元経済の活性化への貢献
- ③ 「利用者満足第一主義」に基づく充実したサービスの提供
- ④ 長年のノウハウ・ネットワークに基づく稼働率向上への取組
- ⑤ 常に安全・安心で快適な利用環境の提供
- ⑥ 平等利用確保や個人情報保護など、コンプライアンス意識の高い管理運営

(2) 広報・宣伝等事業

夢メッセみやぎの施設・機能の優位性について、積極的な広報・宣伝活動等を展開し、利用促進につなげる。

- ① ホームページや様々な媒体を活用した施設の情報や魅力、イベント情報等の発信
- ② 全国業界紙等多彩な広報手段による広報・宣伝
- ③ 比較的利用の少ない時期（平日、閑散期）をターゲットにした誘致

(3) 地域との連携事業

「仙台港エリア振興会」の事務局として、多彩な施設・機能を有するエリア内の魅力を発信するための地域連携事業に取り組む。また、官民組織である「仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアム」に参画し、共同イベントの開催やインバウンド受入など仙台港周辺地域の賑わい創出と活気あふれるまちづくりに取り組む。

令和 7 年度 予算書

令和7年度 正味財産増減予算書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位:円)

科目	R07 予算	R06予算	増減額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	8,600,000	10,243,000	△ 1,643,000
基本財産運用益	8,600,000	10,243,000	△ 1,643,000
②特定資産運用益	35,000	35,000	0
特定資産運用益	35,000	35,000	0
③事業収益	415,751,000	404,040,000	11,711,000
施設利用料収益	410,000,000	400,000,000	10,000,000
展示会開催事業収益	2,000,000	1,000,000	1,000,000
自販機等利用料収益	3,751,000	3,040,000	711,000
⑤雑収益	2,275,000	2,463,000	△ 188,000
有価証券運用益	810,000	920,000	△ 110,000
雑収益	1,465,000	1,543,000	△ 78,000
経常収益計	426,661,000	416,781,000	9,880,000
(2) 経常費用			
①事業費	412,420,000	401,687,000	10,733,000
展示会開催費	15,069,000	15,069,000	0
展示会開催支援費	1,546,000	1,546,000	0
展示会出展助成費	1,650,000	1,637,000	13,000
委託管理費	113,392,000	113,392,000	0
維持管理費	41,094,000	41,488,000	△ 394,000
施設補修費	6,000,000	4,400,000	1,600,000
水道光熱費	85,000,000	82,000,000	3,000,000
備品購入費	750,000	50,000	700,000
管理運営消耗品費	2,065,000	2,050,000	15,000
行政財産目的外使用料	1,971,000	1,911,000	60,000
納付金	36,704,000	36,364,000	340,000
減価償却費	5,500,000	5,390,000	110,000
広告宣伝費	3,359,000	2,787,000	572,000
役員報酬	6,569,000	6,569,000	0
給料手当	48,823,000	46,940,000	1,883,000
賞与引当金繰入額	4,691,000	4,410,000	281,000
法定福利費	10,446,000	9,950,000	496,000
退職金掛金	2,112,000	2,112,000	0
退職給付費用	1,000,000	1,500,000	△ 500,000
福利厚生費	1,033,000	1,458,000	△ 425,000
諸謝金	300,000	300,000	0
会議費	50,000	30,000	20,000
旅費交通費	1,023,000	1,000,000	23,000
通信運搬費	2,075,000	1,914,000	161,000
新聞図書費	79,000	79,000	0
印刷費	1,630,000	330,000	1,300,000
関係団体諸会費	302,000	299,000	3,000
交際費	460,000	540,000	△ 80,000
修繕費	740,000	670,000	70,000
事務用消耗品費	654,000	647,000	7,000
使用料及び賃借料	2,080,000	1,918,000	162,000

科目	R07 予算	R06予算	増減額
保険料	150,000	100,000	50,000
租税公課	382,000	256,000	126,000
委託費	1,200,000	1,200,000	0
支払手数料	51,000	136,000	△ 85,000
負担金	80,000	80,000	0
研修費	100,000	100,000	0
保守料	553,000	683,000	△ 130,000
雑費	1,200,000	0	1,200,000
貸倒引当金繰入額	209,000	54,000	155,000
事業所税	10,328,000	10,328,000	0
②管理費	13,355,000	13,777,000	△ 422,000
役員報酬	7,876,000	7,876,000	0
給料手当	2,560,000	2,504,000	56,000
法定福利費	1,600,000	1,600,000	0
福利厚生費	40,000	40,000	0
会議費	225,000	175,000	50,000
旅費交通費	260,000	235,000	25,000
通信運搬費	2,000	2,000	0
新聞図書費	2,000	3,000	△ 1,000
印刷費	0	30,000	△ 30,000
関係団体諸会費	295,000	307,000	△ 12,000
交際費	5,000	4,000	1,000
租税公課	40,000	26,000	14,000
委託費	350,000	340,000	10,000
支払手数料	0	5,000	△ 5,000
負担金	0	15,000	△ 15,000
研修費	100,000	100,000	0
投資有価証券償却	0	515,000	△ 515,000
経常費用計	425,775,000	415,464,000	10,311,000
評価損益等調整前当期経常増減額	886,000	1,317,000	△ 431,000
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	886,000	1,317,000	△ 431,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
投資有価証券償還益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	886,000	1,317,000	△ 431,000
法人税・住民税及び事業税	72,000	289,000	△ 217,000
当期一般正味財産増減額	814,000	1,028,000	△ 214,000
一般正味財産期首残高	496,660,667	480,853,473	15,807,194
一般正味財産期末残高	497,474,667	481,881,473	15,593,194
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,779,000,000	1,779,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,779,000,000	1,779,000,000	0
III 正味財産期末残高	2,276,474,667	2,260,881,473	15,593,194